

田中ひびき議員、9月議会で補正予算、決算認定反対論

2020年一般会計補正予算

マイナンバー制度に関係するシステム整備の補正予算に対し、国民の理解が進まず取得率が低い現状の中で、カードの電子機能の更新が進まない場合、制度自体が行き詰まる可能性が

あります。また、国家による情報の集積、漏洩問題、巨額の公費投入など問題点が多いこの制度自体を廃止すべきとの立場から反対としました。

2019年度決算認定(全認定)に反対

この年の消費税10%増税に反対の立場です。消費税は、低所得者ほど家計の負担が大きくなる逆進性の高い税です。安心

安全の町づくりという地方自治体の本旨に立つて考えた時、消費税のもたらす影響の大きさは住民の暮らしや町財政に大きな

読者だより

元気が出る雑誌

やさしい元気が出る雑誌の紹介「女性のひろば」です。毎月1回発売、通巻500号になります。

コロナ危機での女性の労働、ジェンダー平等。こまつた事をわかりやすく教えてくれる雑誌です。

連載でおすすめるNHK・BS放送、岩合光昭さんの

「世界猫歩き」でおなじみでしようが「写真ブースなにゃん・わん」です。カラーグラフィックで見ていると幸福になり、家の猫と見くらべています。椎名誠さんのエッセー「おなががすいたハラペ」を読んでいると食欲が出て元気になる。料理の作り方もものついて季節の食材の参考になります。さて、今月号は「鮭とさつまいもの炊き込みごはん」です。是非「女性のひろば」をお読み下さい。

(Mさん)

く降りかかっています。厳しい財政状況のもと、住民の願いは何なのか、費用はどうか、課題を明らかにして施策を進めることを今後の課題として提案しました。

また、マイナンバー制度の問題点を指摘し、国民の理解が進

今こそ、少人数学級へ

子どもたちに良質な教育を

新型コロナウイルス感染症の危険の中、子どもたちはかかってない不安とストレスを抱えています。子どもたちのケア、感染防止の点でも20人程度の少人数学級の実現は急務です。

明和町でも小学校区の再編の計画があります。その時に、「コロナ禍で災害対応ができる学校の再編」が望まれます。

文部科学省が2021年度予算案の概算要求に、少人数学級の検討を盛り込みました。義務教育標準法を改正して正規の制度化をめざす意向です。国民の声が、少人数学級に長期に背を向けてきた政府を動かした、重要な変化で

まない中での不公平な税金投入は賛成できません。特別会計では、払える保険料(料)使用料となるように。国保会計では、皆保険制度を支える最後のセーフティネットを守るためにも国保の値上げを行わない努力を求めました。

「分散登校をしていたころの学校では、子どもたちは非常に落ち着いて学習ができていましたし、登校をしづつていた児童も安心した表情で学校生活を送っていました。教員の誰もがこの人数(定員の半分20人)なら世界のどここの国にも負けない高い水準の教育ができる」と実感しました」との教員の方の声も寄せられています。



政治革新の道しるべ、真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円

お気軽に相談を

仕事・くらしの悩みなど なんでもどうぞ

日本共産党明和支部では、くらしの悩みにお答えする「なんでも相談」を行っています。

くらしのこと、税金のこと、役所などの手続き方法など、疑問に思ったこと、困ったこと、不安に思ったことなど、お気軽にご相談ください。

先み 7
と 5
ひ 5
絡 海
辺 52-5958
連 田
中 TEL